

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	29300	交通安全施設維持補修事業	予算科目	会計	一般	款	8	項	2	目	2	事業種別	☒ 主な事業 ☒ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	31		交通安全対策の強化	根拠法令	道路法									
	施策の展開	61		交通安全環境の整備	戦略事業	266									
施策の展開					戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・交通安全の観点から必要な箇所に標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。 ・交通安全施設・・・防護柵（ガードレール）、照明灯、標識（案内標識、警戒標識）、区画線、路面表示、カーブミラー等 ・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険箇所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また昨年度実施された警察、学校、教育委員会と通学路の緊急合同点検を行った箇所への対応が中心になっている。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
交通事故の減少を目的として事業が開始された。		自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。	市民から、道路における交通安全施設の設置要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)			単位:千円
1.維持補修費	242	交通安全施設の維持補修(主に照明灯の電球交換)	
2.工事請負費	13,882	交通安全施設全般の新設・更新	
3.原材料費	2,303	カーブミラー、道路標識の購入費(職員直営の補修に使用)	
4.委託料	5,365	交通安全施設維持補修業務委託	
5.負担金補助及び交付金	0	用水施設改修事業負担金	
② 特定財源の内訳(28年度の決算)			単位:千円
1.国庫支出金	0		
2.都道府県支出金	0		
3.地方債	0		
4.その他	0	用水施設改修事業負担金	

費目内訳	事業費	単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
			千円	611	670	450	242
事業費	事業費計 (A)	千円	23,927	16,536	16,150	21,792	16,540
		千円					
	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円			637		
	5.一般財源	千円	23,927	16,536	15,513	21,792	16,540

前年度 増減理由	交通安全施設の補修要望が多く工事費が増加した。
-------------	-------------------------

従事職員数	常時	1人	最大	3人	×	日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	----	---	---	---	----	----

前年度増減理由	交通安全施設の補修要望が多く工事費が増加した。
---------	-------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 3 人 × 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

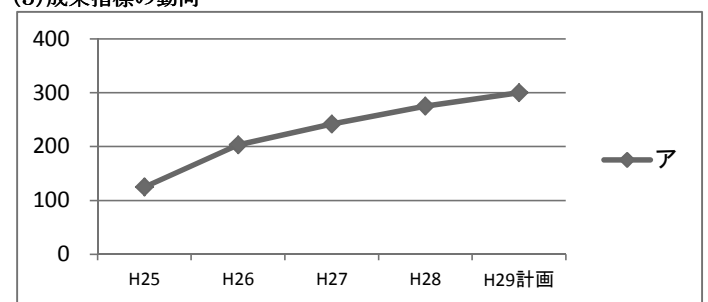
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動)							
交通安全施設の設置・維持管理 通学路の危険箇所への対応		ア 防護柵新設・更新延長	m	372	104	3	249	200
		イ カーブミラー新設・更新箇所数	箇所	19	14	1	19	60
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 市道及び利用者(市民) 安全性が向上する。安心して通行できる。	ア 危険解消箇所数(予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)	箇所	125	203	242	275	300
		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①			
	②			(9)
③				
	④⑤			
⑥				
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難									
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)											
	② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ	成果指標 のタイプ	☒ 数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向	比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	25年度		26年度	27年度	28年度	29計画		
	【コメント】 (低下の場合、その理由)						ア	92	78	39	33	25
						イ						
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()				
	通年	長寿命化修繕計画に基づく修繕工事 交通安全施設の整備										